

# 埼臨技だより

発行所 埼臨技 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter: @sairingi

## 第42回埼玉県医学検査学会だより 「多数の演題ご応募に感謝申し上げます!!」

学会を成功させるにはどうしたら良いか? これは昨年10月24日にスタートした第1回実行委員会から実行委員全員で考えていたテーマでした。実行委員の中で種々検討し、たどり着いた答えは多数の参加者、そのためには『一般演題を多く集めよう』という結論で一致しました。そのような経緯の中、一般演題は4月1日より募集を始めました。学会実行委員会は毎月1回行われていて、その席で山本学術部長より毎月報告がありました。4月に行われた実行委員会では「4月25日現在、演題数0」、5月に行われた実行委員会では「5月22日現在、演題数0」、6月に行われた実行委員会では「6月26日現在、演題数4」、それに比較し、特別講演、教育講演、研究班セミナー、ランチョンセミナー、コマーシャル演題などは順調に決定していましたが、肝心の一般演題は6月26日でも4演題ととても不安になった思いもありました。

理事・研究班合同会議、理事会、埼玉県臨床検査技師会総会の席で時間をいただき演題の募集を行いました。また、各施設に演題をお願いすることも検討していました。こうした中、7月に入り演題の登録数が著しい勢いで増加している報告を受けました。最終的には過去に例の無い133演題となりました。内訳は一般演題102題、コマーシャル演題16題、学生演題15題です。当初の目的であった『一般演題を多く集めよう』の合言葉が達成でき実行委員一同大変感謝しております。それにしても埼玉県臨床検査技師会会員の皆様におかれましては世界水泳での萩野選手の如く、その猛烈なラストスパートには驚かされております。演題登録数102というこれ以上のないご支援をいただいた上は、実行委員一同全力で学会を成功させる所存です。会員各位の多数の演題申し込みに感謝申し上げますとともに、12月1日の学会参加もよろしく願いいたします。



(文責: 学会長 坂場幸治)

第42回埼玉県医学検査学会

新人実行委員のつぶやき ~今年学会デビューするみなさまへ~

会計部 土屋 貴絵

いよいよ夏本番！！ビールが美味しい季節がやってきましたね。連日の厳しい暑さが体に堪えませんが、皆さん体調を崩さぬよう気合いを入れて乗り切りましょう！

演題登録の締切日が過ぎ、100を超える過去5年間で最高数の演題が集まりました。登録していただいた会員の皆さま、ありがとうございます。抄録締切は8月15日です。こちらも期日厳守でお願いします。

さて、これまでの学会のページは、坂場学会長から始まり錚々たるメンバーによる今回の学会“匠”に対する熱弁が繰り広げられてきました。本号は外も暑いので、熱い話は一休み。新人実行委員から学会に初めて参加される方へ、どんなスタンスで参加すればいいのか、ちょっとしたメッセージをつぶやいてみようかと思えます。

学会は、一般演題が大部分を占めており、公開講演、教育講演、R-CPCなど盛り沢山な内容になっています。これらを全て完全に理解しようとして、メモをとることに必死になりすぎて、記憶に残らなくなってしまうと思います。

一般演題には学会翌日から業務に生かせる情報があちこちに散らばっています。まずは今担当している検査の発表の中で初めて聞いたことや興味を持ったこと、自分ならこうするなとつぶやきを入れた所を忘れずにお持ち帰りください。それは自分を大きくさせる種です。“限りない追究心”と小さな努力の積み重ねで、一つの花を咲かせることでしょう。一般演題にはそんな“匠”への道に不可欠な種を見つけるきっかけが沢山あります。

教育講演、公開講演に関しては、自分になかった知識を吸収できる喜びと感動に酔いしれ、ただひたすら聞き入りましょう。今回教育講演ではiPS細胞を取り上げているのですが、私は「iPS細胞」と聞いても、去年山中教授がノーベル賞を受賞したとか、iPS細胞の“i”はiPodからきてるとか、その程度の知識しかありません。でもそれでいいと思います。抄録を読んで、当日の講演を満喫してください。これはあくまで新人実行委員の“つぶやき”なので、こんなモチベーションで学会に参加するのも一つかなと思ってくだされば幸いです。

「来てよかった」と思っていただけの学会になるよう、実行委員一同、全力で準備に取り組んでいます。たくさんの皆さまのご参加を心からお待ちしています。

★★締切厳守のため、復唱させてください★★

抄録締切：8月15日



正職員募集

求人先 越谷市立病院
採用人員 臨床検査技師
業務内容 臨床検査業務全般（採血業務含む）
その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。
連絡先 TEL 048-965-2221(代表)
TEL 048-965-4562(直通)(内線2312)
(担当 事務部庶務課庶務担当 杉原)

正職員募集

求人先 女子栄養大学
採用人員 臨床検査技師
業務内容 臨床微生物学、臨床血液学、病理検査学、輸血・移植検査学のいずれかの分野の教授または准教授（臨床検査技師及び博士の学位を有すること）
その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。
応募書類等については問い合わせ先にてご確認ください。
連絡先 TEL 03-3576-3235(学務担当直通)
(担当 女子栄養大学 学務担当)
E-MAIL:kgakumu@eiyo.ac.jp

## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ ①平成24年度埼玉県・埼玉県医師会臨床検査精度管理事業報告 ②シャーガス病に向けた安全対策

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成25年 5 月30日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講師：①宮川 勇 技師（小川赤十字病院）

②百瀬 俊也 氏（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター製剤一部）

参加人数：会員37名 賛助会員1名

出席した研究班班員：渡邊一儀 山田攻 宮川勇 佐藤祥子 今井厚子 長谷川卓也  
神戸考裕 武関雄二

#### 研修内容・感想など

今回の研修会では2つの主題について講演があった。はじめに平成24年度の精度管理事業報告を小川赤十字病院の宮川技師にご講演いただいた。ABO・Rh式血液型検査は昨年より1～2施設増え、回収率は100%だった。各試料の正解は試料41：A型Rh陽性、試料42：B型Rh陽性、試料43：不規則抗体陰性、試料44：不規則抗体陽性、試料45：不規則抗体抗Fybであった。今回の試料は日頃遭遇する検体を選択している。コントロールサーベイを通して自施設の検査精度の向上・維持を目指すと共に他施設の動向に注目して各検査室で輸血検査の体制を再検討していただきたいという内容だった。

次に『シャーガス病に向けた安全対策』を百瀬氏にご講演いただいた。シャーガス病は媒介昆虫のサンガメの糞便中からTrypanosoma cruzi原虫が人に感染して起こる感染症であるが、母子感染や輸血、臓器移植でも感染が起こる。中南米が流行地域であるが、南米長期滞在の日本人や中南米からの日本定住者（約30万人）が増えている事から、その輸血による伝搬リスクが注目されている。日本赤十字社では感染を防止するために中南米滞在歴のある献血者の血液は輸血用として使用せず、血漿分画製剤の原料として用いる事としている。幸い現在、日本で輸血による感染報告はないが、疫学調査による正確なリスク評価とより良い安全対策が望まれる。

（文責：渡邊一儀）

### テーマ 日当直者のための輸血検査

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成25年 6 月13日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科ー20点

講師：山下 省一（和光純薬工業株式会社）

参加人数：会員95名 賛助会員2名

出席した研究班班員：渡邊一儀 見城千春 山田攻 宮川勇 佐藤祥子 今井厚子  
長谷川卓也 神戸考裕 洞庭敬子

#### 研修内容・感想など

今回の研修会では、日当直者のための輸血検査をテーマとし、山下氏に講演していただいた。

講演では「日当直者のための輸血検査」と題し、異型輸血等の輸血事故防止策について、血液型・不規則抗体の検査方法及び異常反応が出た場合の対処方法、緊急輸血について詳しく説明して頂いた。

輸血過誤の発生状況では、「時間外・緊急時」に発生している割合が5割前後との報告があり、輸血過誤防止のキーポイントであった。輸血事故を防ぐための取り組みとして、①適正輸血の推進→不必要な輸血はしない、②マニュアルの整備、③機械化→ヒューマンエラーの軽減、

④電子化、⑤バックアップ体制の整備が挙げられた。また、日当直時に望まれる輸血検査として、判定が明確にでき、正常なのか異常があるのか、はっきり判断できる検査方法を用いることが推奨される。

血液型・不規則抗体検査で異常反応が見られた場合、まずは再現性があるかどうかもう一度検査をやり直して試みるのが重要であるとの解説があった。

今回は、有意義な研修会であった。また、普段輸血検査を行っていない会員が多数出席しており、この研修会をきっかけに輸血検査へ興味をもってもらえれば幸いである。

(文責：洞庭敬子)

## テーマ 穿刺液(体腔液)検査のファーストステップ！

主催 一般検査・細胞検査研究班合同

実施日時：平成25年 6月21日 19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティセンター 第13集会室 点数：専門教科ー20点

講師：小関 紀之（獨協医科大学越谷病院）

金守 彰（済生会川口総合病院）

村田智香代（埼玉県済生会栗橋病院）

小俣 諭子（獨協医科大学越谷病院）

田中 真美（獨協医科大学越谷病院）

参加人数：会員91名 非会員(申請中) 5名

出席した研究班班員：山本英俊 深田茂則 小関紀之 室谷明子 土屋貴絵 槇島碧 川音勝江  
山崎泰樹 金守 彰 大澤久美子 三升畑奈穂 船津靖亮 鶴岡慎悟  
大木麻衣 宮内優太

研修内容・感想など

毎年恒例となっている細胞検査研究班との合同研修会を今回は穿刺液検査について行った。

「一般検査の見方」について小関技師より基本となる体腔液の解剖から、一般検査で重要となる滲出液と漏出液の原因、鑑別について説明していただいた。

「細胞診の見方」については金守技師から細胞診の目的と細胞の見方について説明していただいた。細胞診では悪性細胞の有無が重要となり、中皮細胞との鑑別が必要とのことであった。出現パターンや染色性などの説明があり、腺癌と中皮細胞の比較に可愛い猫の写真がでてきたのが印象的であった。

症例検討2題は、はじめに村田技師から症例提示とともに変性空胞と粘液空胞の違いを、小俣技師、田中技師からは形質細胞腫の症例に加え類似細胞との比較検討が行われた。

一般検査における穿刺液検査は標準化がされていないため、検査内容も染色法も異なるのが現状であり、今後統一の方向を期待したい。合同の研修会では普段とは違う内容や見方が加わり、新鮮でとても刺激になった。研修内容を新たに来年度も細胞検査・一般検査研修会を企画していきたい。

(文責：川音勝江)

## テーマ 凝固検査 Part 2 凝固検査の基礎から最近の話題

主催 血液検査研究班

実施日時：平成25年 7月4日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科ー20点

講師：須永 宏行（株式会社 セキスイメディカル・カスタマーサポートセンター）

参加人数：会員66名 学生3名

出席した研究班班員：星孝夫 網野育雄 根岸永和 羽鳥浩司 田中正 橋口恵子 原誠則  
圓田和人

## 研修内容・感想など

前回に続き、凝固検査の基礎から最近の話題・Part2として講演いただいた。FDPおよびDダイマーの基礎知識では、動脈と静脈血栓症についてから始まりフィブリノゲンの構造・フィブリンの分解そしてFDP・Dダイマーになるまでを説明していただいた。

DICのセクションでは、病態・検査所見を確認し、複数存在しているDICの診断基準についての解説があり、スコアの注意点も指摘された。各メーカーの測定キットの違いと換算表を提示していただき、改めてFDP・Dダイマーの臨床的意義を再認識することができた。

深部静脈血栓症 (DVT)/肺血栓塞栓症 (PTE) そして静脈血栓塞栓症 (VTE) については、リスク因子・病態・予防の必要性と血栓症関連マーカーを用いたDVTの診断、Dダイマー測定的重要性を解説していただいた。

ワルファリンから変わると期待された新しい抗凝固薬 (ダビガトラン・エドキサバン等) の紹介があり、ワルファリンと新規経口抗凝固薬とのそれぞれの利点と欠点を提示していただき、薬剤選択の可能性と難しさを知ることができた。

最後は前回Part1からのアンケートによる質問の回答であった。アンケートの回収率は90%を超え、その半数に質問が記載されていた。大勢の方が日頃から凝固線溶系検査について悩みながら業務を行っていることが推測された。研修会が知識を得る場であると共に、情報交換の場であるように努めていきたい。

今回の配布資料は、Part1.2合わせてスライド約170枚あり、情報源も記載されているので今後活用していただけたら幸いである。

(文責：星 孝夫)

テーマ **「自分発見 —エゴグラムによる交流分析—」**  
～あなたは上手にコミュニケーションとれますか～

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成25年 7月 5日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 901号室 点数：基礎教科—20点

講 師：金平しのぶ (オフィスプレーリー代表 心理カウンセラー)

司 会：長崎 広美 (浦和医師会メディカルセンター)

参加人数：会員31名

出席した研究班班員：菊地孝司 富井貴之 阿保一茂 榊原外江 鈴木勤 立塚梓 長崎広美

## 研修内容・感想など

現代社会において、ストレスや病気などのさまざまな問題にメンタルヘルスが大きな影響を与えている。今回は、エゴグラムによる自己分析・自己診断とセルフケアやコミュニケーションのとり方について心理カウンセラーの金平先生に講演していただいた。

人は大きく分けると3つの心を持ち、それを状況に応じて出し入れして人とかかわっている。

- 1、P (Parent)：親の自我状態・厳しい親 (CP) と優しい親 (NP) の2つに分けられる。
- 2、A (Adult)：大人の自我状態・現実を客観的に評価する。
- 3、C (Child)：子どもの自我状態・自然な子ども (NC) と従順な子ども (AC) の2つに分けられる。

このように、人の性格を5つの心の領域 (CP・NP・A・NC・AC) に分け、「交流分析」という人間関係の心理学理論に基づいて作られた性格診断テストがエゴグラムである。人の性格の基本的な部分は幼児期までの経験で構築され、その後の経験により蓄積される。物事の見方や感じ方は人により違いがあるため、さまざまな異なった性格が生じる。研修会の参加者は自己分析を行い、個々に解析結果を診断してもらい、自我状態を成長させる部分や改善する部分について簡単にアドバイスをいただいた。次に、「言葉のやりとり」を例にしてコミュニケーションのとり方を教えていただいた。人とのコミュニケーションは自分の心しだいである。使う言葉により相手に与える印象が違い、人に対する抑圧や我慢はストレスにつながる。実際に、否定的な言葉を肯定的な言葉に直す練習を行い、人に与える印象の違いと言葉の難しさを学んだ。

(例：否定的表現・席を立たないでください/肯定的表現・席に座ってください)  
 コミュニケーションのとり方は自我状態により、それぞれ異なる。自己を知り相手を想うこと  
 とで、より良いコミュニケーションがとれるのではないだろうか。

(文責：長崎広美)

### テーマ 輸血検査実技研修会 (カラム凝集法)

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成25年 7 月 7 日 10時00分～15時00分

会 場：埼玉県済生会栗橋病院 東館 5 階講堂 点数：専門教科ー20点

講 師：柿沼幸利氏・研究班班員 (バイオ・ラット ラボラトリーズ株式会社)

参加人数：会員36名

出席した研究班班員：渡邊一儀 山田攻 宮川勇 佐藤祥子 洞庭敬子 今井厚子 長谷川卓也  
神戸考裕 武関雄二

#### 研修内容・感想など

今回の実技研修会は午前に血液型検査、不規則抗体検査についての講義を柿沼氏にお願いした。講義の内容は、血液型検査の基礎から不規則抗体検査の原理・方法やカラム凝集法の検査に至るまで詳しく説明して頂いた。

午後の実技研修は、カラム凝集法による血液型検査、不規則抗体スクリーニング、同定検査消去法を実施した。今回の研修会募集人数は、20名の予定であったが、最終的に36名の応募があり、カラム凝集法の検査に対する関心の高さが伺えた。各班6名で実技



研修を行ったので、血球の作成、サンプリングの方法や判定のコツを丁寧に説明することができた。また、参加者全員が時間をかけてカラム凝集法の検査手技や不規則抗体の消去法を習得していたので、今回の研修の目標は達成できたと思う。

(文責：武関雄二)



## 正職員募集 ▶▶

求人先 医療法人 福寿会 メディカルトピア草加病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 検査業務全般(検診・ドックを含む)  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、  
 交通費、社会保険等の詳細については  
 連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-928-3117 (総務人事課直通)  
 (担当 総務人事課 谷口)

## 臨時職員(パート)募集 ▶▶

求人先 医療法人 三和会 東鷲宮病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 ○生理機能検査 (心電図・負荷心電図・ホルター  
 解析・肺機能・聴力・心エコー・腹部エコー 他)  
 ○検体検査 (採血業務なし)  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、  
 交通費、社会保険等の詳細については連絡  
 先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 0480-58-2461 (直通)  
 (担当 総務課 人事担当 亀井)

**平成25年度  
社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第4回 理事会議事録**

日 時：平成25年7月11日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席者：砂川、津田、神山、前原、矢作、岡田、  
奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、松岡、  
小島、高嶋、濱本、藤井、長澤、小関、  
小山、山口、野瀬、遠藤、細谷

**Ⅰ. 行動報告(平成25年6月13日～平成25年7月10日)**

6月13日(水)第3回理事会：

砂川、神山、前原、矢作、岡田、  
奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、  
松岡、小島、高嶋、濱本、藤井、  
長澤、小関、茂木、小山、山口、  
野瀬、細谷

6月13日(木)第8回深谷市福祉健康まつり打ち  
合わせ：高嶋、濱本、藤井、長澤、  
野瀬

6月21日(金)三役部長会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、  
岡田、島村、高嶋、小関、山口

6月22日(土)一都八県会長会議：砂川、津田

6月24日(月)埼臨技名簿作成作業：神山、猪浦

6月25日(火)第8回深谷市福祉健康まつり第1  
回実行委員会：高嶋、濱本、野瀬

6月26日(水)表彰審査選考委員会：

砂川、津田、神山、前原、岡田

6月26日(水)第42回埼玉県医学検査学会第8回  
実行委員会：松岡、奈良、濱本、  
長岡

6月27日(木)総務部会議：

神山、岡田、猪浦、長岡

6月28日(金)平成25年第1回通常総会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、  
岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、  
島村、松岡、小島、高嶋、濱本、  
藤井、長澤、小関、茂木、小山、  
野瀬、遠藤

7月6日(土)第1回事務局会議：

砂川、津田、神山、前原、矢作

**Ⅱ. 報告事項**

**1 事務局**

- 1) 6月22日、一都八県会長会議を都臨技事務所にて開催した。
- 2) 一都八県ホームページ委員について

- 3) 日本動脈硬化学会主催の脂質異常症治療ガイド2013年版普及啓発セミナーに後援する。
- 4) 7月6日、第1回事務局会議を開催した。
- 5) 認定心電検査技師制度について
- 6) 福島県(県民健康管理調査)における甲状腺検査への技師派遣について

**2 総務部**

- 1) 「埼臨技だより」第410号7月15日発行予定
- 2) 平成25年度会員名簿発行予定

**3 事業部**

- 1) 第8回深谷市福祉健康まつり第1回実行委員会について
- 2) 日臨技公益委託啓発事業について
- 3) 全国検査と健康展について

**4 学術部**

- 1) 埼臨技会誌Vol.60 No.1発刊予定(7月15日)
- 2) 首都圏支部・関甲信支部微生物検査研修会案内

**5 精度保証部**

- 1) 精度保証施設認証制度アンケート結果をだより掲載する予定。

**6 会計部**

- 1) 日臨技より、25年度入会金49名分24,500円、正会員費49名分245,000円、合計269,500円の入金があった。
- 2) だより409号印刷代142,621円を石井印刷に支払った。
- 3) 埼臨技学会特別会計に、会場賃貸料分554,980円を一般会計より拠出した。

**7 精度管理委員会**

**8 関甲信支部**

**9 第42回埼玉県医学検査学会**

- 1) 6月26日、第8回実行委員会を開催した。

**Ⅲ. 承認事項**

**1 事務局**

- 1) 会員動向(会費納入済)(平成25年度分)  
会員数 2,272名  
(新入会員124名[平成24年度会員数2,256名])  
賛助会員 48社[平成24年度 69社]  
平成25年7月8日現在

- 2) 平成25年度公衆衛生事業功労者表彰の推薦  
について

日時：平成25年11月22日(金)

- 3) 埼臨技事務所夏季休暇について  
期間：平成25年8月12日(月)から16日(金)

**2 総務部**

**3 事業部**

**4 学術部**

**5 精度保証部**

**6 会計部**

**Ⅳ. 議事の経過の概要およびその結果**

定款24条の規定により、会長 砂川進氏が議長となった。

事務局

- 1. 第50回関甲信支部医学検査学会 茨臨技企画公開水戸塾への推薦について  
砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、4名の会員を推薦することを出席理事全会一致で承認した。
- 2. 第50回関甲信支部医学検査学会 式典出席要請について  
砂川会長より標記の議案について発言が

あった。これを受け理事会審議の結果、砂川会長が出席することを出席理事全会一致で承認した。

- 3. 平成25年度第12回理事会開催日変更について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、変更日については後日決定することとした。

総務部／事業部／学術部／精度保証部／会計部／その他



日臨技 “大腸がん予防に関する啓発事業” のお知らせ

来る、9月28日(土)15時より、大宮駅西口駅前デッキ上にて、大腸がん予防に関するパンフレットなどの配布活動を行います。参加していただける会員の方は、8月末までに埼臨技事務所(048-824-4077)までご連絡ください。

**正社員・臨時職員(パート)募集 ▶▶**

求人先 医療法人 慈正会 レインボークリニック  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 検査業務全般  
 検体検査、心電図、超音波等  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-758-3891 (担当 高橋)

**臨時職員(パート)募集 ▶▶**

平成25年9月1日～

求人先 獨協医科大学越谷病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 臨床検査全般(病理を除く)  
 特に生理機能検査(心電図、超音波検査など)、採血ができる方  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-965-9138 (担当 職員係 竹中)

あ と が き

慣れた手つきで、細身のグラスに注がれていくシャンパン。  
 その銘柄は・・・ローラン・ペリエ。  
 私が嘱(勤務)する東武医学技術専門学校の城田恵次郎前校長先生の「感謝の会」での、乾杯時のお酒でした。  
 イギリス王室ご用達で、ウィリアム王子様婚礼の晩餐会で、振舞われたことで有名になったそうです。  
 シャンパン??? 私には味など到底分かるはずもないのですが、雰囲気の良いさも手伝ってか、素敵なお味がしたような。  
 ローラン・ペリエの人気は「フレッシュさ」「エレガントさ」「バランスの良い味わい」にあるそうです。これは、人間性にもつながる大事な要素ではないでしょうか。  
 只今、臨床検査技師養成校は定期試験期間中です。何事にも真剣に取り組み、研鑽を積み立派な臨床検査技師として羽ばたいてほしい。  
 そして、200年もの間、愛され続けられているローラン・ペリエのように。  
 答案用紙に向かう学生たちの真剣な眼差しを見つめながら、エールを送っています。  
 (伊藤 記)

